



いのちを守る防災CAMP事業

いのちの体験教室®

テーマ 障害のある人の防災対策とは。。。？



3 / 10 日

13:00~14:30

那須塩原市図書館みるる

サクシード・ツグナラホールJR黒
黒磯駅西口前

発災直後の“障害を持つ人が生き抜く”をテーマにしたワークショップ
「いのちの体験教室®」“防災&障害と向き合う”を実施します。

この“ミニ防災体験”を通じ、いつ来てもおかしくない大規模災害発生時に
自分のいのちを守り、守りたいのちで大切な人、愛する人を守る方法について
学ぶことができます。

《参加費 無料》

参加申込

Tel:0287-74-5129



申込フォーム

主催：一般社団法人いのちを守る@プロジェクトJAPAN
お問い合わせ：那須町ぼうさい村「いのちの体験教室®」係 e-mail: info@imp-japan.org



みるる 防災講演会開催に寄せて

災害は、繰り返される。

しかし、これは、歴史ではない。

言い方は、適切ではないかもしれませんが、私たちは、多くのかけがえのない「いのち」と代償に私たちの大事な「いのち」を守るすべを手に入れることができていると思います。

その意味で、私たちは、自らの「いのち」を

守り、守った「いのち」で、愛するひと、大切な人の「いのち」を守らなければならない。

幸いにも私たちが元気な間に、大きな災害が起こらなかったとしても、私たちの未来の子どもたち、孫たちの世代では、必ずそれは来てしまうでしょう。

私たちは、「いのち」の大切さに深く気づき、

「いのち」を守るすべを学び、これを次の世代に伝える義務があるとおもいます。

▶プログラム内容 90分 対象： 防災に興味がある方
なたでも
障害を持っている方
障害者支援者など

①オープニング

②防災3ポイントレッスン

③防災リスク・サーベイゲーム（脳内防災学習）

- ・障害者自ら大災害にどのように向き合うのか？
- ・発災その時、障害者を支援するには？
- ・その時何が出来て、何が出来ないのか？

④振り返り・・・何に気づけたのか？

■プロフィール 高貝 正芳(たかがい まさよし)

阪神淡路大震災の自身の被災体験から学んだことを活かし、

受講者に自分の命と向き合うことを伝えている。危機管理及び防災関連の体験型プログラムの企画製作、実施を行う今注目の人気ファシリテーター。「いのちを守る」シリーズの防災セミナープログラムを考案し独特の演出で熱い思いを伝え、感動を巻き起こす。「いのちを守る」活動と題し、学校や企業にてセミナーを行う。この「いのちの体験教室」はヒットプログラムとして、今、話題になっている。

いのちを守る防災プロジェクト実行委員会 会長
いのちを守る@プロジェクト JAPAN 代表理事
公益財団法人科学教育研究会 評議員

